

牛、豚、鶏の生産現場では、
貴重な子牛、子豚、幼雛が死亡したり、発育不良になったり、
その被害は依然大きいままで。
私は、産めよ、増やせよの増頭計画に疑問があります。

しっかりとした増収入計画を立て、
次の若者がやりがいのある儲かる畜産推進を目指しつつ、
飼養動物の健康を保持できる中長期プランを立てましょう!!

牛と豚の早期離乳システムに疑問を感じています。
母牛、母豚を健康で丈夫にすることで、
また、子牛と子豚がしっかり哺乳することで、
健康に、また丈夫になり、
病気に強い身体になるのではないのでしょうか。

子牛と子豚の下痢対策は、
母親の健康管理(身体作り)からではないのでしょうか。

子牛と子豚の下痢症の病性鑑定を何年も実施経験し、
大腸菌が陽性、サルモネラが陽性、
では、治療しましょう!!の後追い対策ではダメで、
源(母体)の対策(母体の健康)が大事だと強く感じています。

日本の畜産を元気にすることを目標に務めます。

定期的に健康診断(動物と農場診断)をしてくれる
かかりつけの獣医さんを確保しましょう。
健康保険です。

目指せ、元気な畜産!!!!

UV パスボックス、踏込消毒槽を卒業しましょう!!

その心は当研究室の HP をご参照下さい。